

# 平成30年度第2回ごみ減量化・資源化推進検討委員会 議事要旨

日時 平成30年8月3日（金） 13時30分～15時45分

場所 田川市役所本庁4階 第2委員会室

## 1. 開会

## 2. 議題

### 議題(1) ごみ質分析について

(事務局)

【資料1：ごみ質分析についてにより説明】

(会長)

ご意見、ご質問ありましたらお願いします。

(委員)

家庭ごみと書いてあるが、ごみの中には飲食店のごみも結構あると思う。区別できるのか。

(事務局)

調査方法の詳細については今後専門のコンサルと協議をしていく。どこの地区、場所のごみをターゲットに調査していくかということになる。調査対象とすることのごみの収集地区を特定できるよう調査する。

(会長)

ごみ質の分析結果の図で、上が水分、下が生ごみの割合の推移で、赤いプロットが夏季となっているが、夏季だけ見ても傾向として分かりにくい。分析の仕方が生ごみに特化していないということもあり、データにかなりばらつきがある。今年度、新たな調査を行うということだが、秋季、冬季と傾向がもう少し見えたらと期待している。資料のグラフでは、平成15年から28年は水分も生ごみも全体的に右下がりに見える。相関直線でトレンドをとってみるともう少し数値的に何らかの傾向が出てくると思う。全体のごみの量も少し減っている。事務局としてどのような印象を持っているか。

(事務局)

平成15年から28年は、全体的に右下がりの傾向だという認識である。それ以外の傾向についても何らかのデータから見られないかと考えている。今後もデータの分析を継続していく。また、今年度実施する食品ロスの実態調査結果とも比較するなどして何らかの傾向が見えないか分析していく。

(委員)

高齢化により料理は自分でしない傾向である。また、今年のような暑さでは、家庭で料理しない。それにより生ごみが出ない。

(会長)

事務局が説明した食品ロスのごみ袋開封調査について、ぜひ現場を見たいという要望が委員からあれば調査日を調整するが、いかがか。

(委員)

若い方が住んでいる新興住宅地とお年寄りのごみは質が違う。子供が居る家と居ない家もごみの質が違う。

(会長)

現場確認についての意見はあるか。最終的にはデータで傾向が見られるのであれば、それで良いが。

(委員)

最終的には全てのデータを平均した結果になると思う。個々のデータを示してもらえれば、何らかの傾向が見えてくると思う。全体で平均化すると個々の傾向が見えなくなってしまう。1回に200キロくらいの個々のデータを示して欲しい。

(委員)

資源拠点回収の場所も、お年寄りばかり住んでいる所にあっても、ごみが集まらない。若い人の居る所の方が、よりごみが集まる。

(会長)

ごみ質の分析データはばらつきが多い。難しいとは思いますが、可能な限り、傾向や特徴が出るようにまとめて頂きたい。

(事務局)

昨年度環境省の同様の事業で、それを請け負った業者と何度か情報交換しているため、助言をしてもらいながら、いくつか地区を設定して、地区ごとにデータを取りまとめ

たい。

(会長)

ここ10数年、容器包装廃棄物を中心に行ってきたが、その次に量が多いのが生ごみということで、少し生ごみにも焦点をあてながら、様々な議論もしていきたい。

議題(2) 視察先(案)について

(事務局)

【資料2：視察先(案)について

参考資料2：平成27年度学校給食の実施に伴い発生する廃棄物の3R促進実証業務報告書(宇部市)

参考資料3：宇部市の環境学習概要説明 により説明】

(会長)

宇部市の分別は田川市と比べてどうなのか。

(事務局)

確認ができていない。

(会長)

宇部市の方が意識は高いと思う。案1と案2示して頂いたが、ご意見お願いします。

(委員)

両方、視察をしてはどうですか。

(会長)

ひとつの案として、考えられる。

(委員)

水俣市は視察先の案に出ていないが、参考までに、水俣市の資料を提供してほしい。

(事務局)

提供する。

(会長)

案1も案2も相手があるが、実際に環境学習等の現場を視察できるのか。

(事務局)

視察先を決定後、今後事務局で日程調整する。

(委員)

宇部市を視察できれば、プロセスが分かって良いと思う。大藪小学校の野菜植えを見

に行ったが、ただしているだけだった。実際に自分が行うのは難しいと思った。ダンボールコンポストは若い世代でもらえると良いと思う。子供たちに啓発する事はよいと思う。宇部市が良いのではないか。ダンボールコンポストで出来た堆肥をどうするか。マンションに住んでいる方はどうしようもないが、1つの案として学校で家庭菜園に活用してもらおうという方法があると思う。宇部市は実際に取り組みとしてやっているの、宇部市が良いと思う。テレビで見たが、水俣は環境汚染で徹底してやっているが、そこまではしなくて良いと思う。

(委員)

私はダンボールコンポストを実際にやっているの、堆肥作りの学習という所に興味がある。

(会長)

資料にあったが、土作りの専門の方に何度か小学校に来てもらって、野菜作りをやったと報告がある。行くほうが良いのか。来てもらうほうが良いのか。

(委員)

事務局の説明では、年度初めに宇部市の職員の方が学校に出向いている。それが重要だと思う。先日、大藪小学校に行って野菜作りを見たが、市の職員が誰も来ていなかった。父兄の方ばかりだった。

(委員)

他所から来ていただけるのであれば、両方を良いとこ取りができないか。視察は宇部市が良いと思う。

(委員)

宇部市は学校給食の残飯を利用して堆肥にしている。ダンボールコンポストではなく、食品ロスのところからいかに堆肥にしているかというところが1つ面白いなと思った。

(会長)

みなさんが悩んでいるのは出口の部分、小学校では昔は焼却炉でごみを燃やしていたが、今は燃やすことが出来ない。環境教育に始まっている。外から呼んでくることも含めながら、どちらが良いですか。

(委員)

事前に資料を読んでいたが、この資料ではイメージが湧かず、決められなかった。1年に1回の視察だから無駄にたくない。

(委員)

これを見てみたいと思っても、一人で見に行ってみられるものでもない。いい機会だ  
と思う。

(会長)

事務局の判断はどうか。

(事務局)

案1、案2どちらも良い面がある。別日になると思うがどちらも視察できる方向で検  
討したい。

(事務局)

事務局の中でも様々な協議をした。まず先進地である宇部市に先に行ってはどうか。  
田川市内はいつでも日にち等は調整できる。

委員会で了解頂ければ、両方視察に行きたいと考えている。

また、補足説明をすると、環境学習は大藪小、鎮西小、弓削田小で行っている。まず  
1月に野菜クズで堆肥作りをする。5月苗植え(なす、きゅうり、トマト、ピーマン)  
夏休み前に収穫をして、学校の希望があれば食べて頂き、実際のスーパーの野菜と違  
いがあるのかなど児童の意見を聞く。一連の流れをとっている。ある程度年数が経っ  
て独り立ちできる所は自分達で行ってもらい、始まったばかりの学校は、最初から最  
後まで、市の職員が出て行っている。ダンボールコンポストで出来た堆肥をどうする  
かという問題が出てくる。来年度から資源拠点回収場所で引き取ることも可能だと考  
えている。それから、学校に持って行ったり、家庭菜園で必要な人に自由に持って帰  
ってもらおう。

(会長)

事務局から提案頂いたスケジュールの流れでよろしいでしょうか。

(委員全員)

了承。

### 議題(3) 資源拠点回収事業の説明会資料(案)について

(事務局)

【資料3：資源拠点回収事業の説明会資料(案)についてにより説明】

(委員)

色のついているびんと、白いびんをどう分別したら良いのか迷う。

(事務局)

現状、ゴミ袋でびんを回収している。回収した後にリサイクル業者に引き渡している。びんは色ごとに3種類（透明、茶色、その他）の色別に分けるようにしている。資源拠点回収施設で回収する際は色別に分けてもらう予定である。

(委員)

資料のレイアウト等について2. 資源拠点回収事業についての文字はこんなに大きくなくても良い。もっと端の方で良い。3ページだったら場所が大きく、4ページだったら回収品目が1番大きく、5ページだったら分別・排出の仕方を大きくして欲しい。12ページのところの電子体温計は回収できないとなっているが、その後どこに捨てたら良いか書いてほしい。

(委員)

新聞紙を紐で結んでくださいと書いてあるが、面倒だと思った。スーパーの袋に入れた方が出しやすい。

(事務局)

古紙回収業者とは話をしている。業者側では紐が邪魔になるようで、バラで受け入れると聞いている。

(委員)

新聞は紐で結ばなくて良いと思う。古着の回収は行うのか。

(事務局)

古着の回収を行う予定はない。先ほどの新聞の話だが、なるべく住民の方に手間にならないようにしたいと考えているが、新聞を受け入れるスペースがどのくらい取れるか、また、保管スペースで整理をしていかないと多く受け入れられないという課題もある。そういった事も含めて、どういった受け入れ方法が良いか、内部で検討している。決まり次第示したい。

(委員)

新聞は袋に入れる方をお願いしたい。もう1点、前回の委員会の資料で、他自治体の広報の資料があったが、税金がこのくらい節約できるといったことを書くと、市民としては協力する気持ちになる。一手間、二手間を市民の方に協力してもらうのだから、

キャッチフレーズを記載するべきだと思う。ごみの出し方はある程度分かっている。

(委員)

あなたの持って来てくれる資源で税金が助かりますとか。

(会長)

見える化、及び意識改革について説明会の資料に記載すると良いのではないか。

(委員)

資源拠点回収施設の場所を説明している頁に電話番号を入れて欲しい。

(会長)

小型家電の電池やバッテリーは、近くに不燃ごみを捨てる場所があるのか。それとも前もって家庭で捨てておく必要があるのか。

(事務局)

電池は別に受け入れるという事も含めて現在検討している。出来る限り、資源拠点回収施設内で受け入れるように対応したい。

(会長)

取り外せないバッテリーもある。個人情報等色々あるので、小型家電の収集の仕方を最終的にもう少し検討して頂きたい。

(委員)

誰もが清掃事務所の場所が分かるのか。簡単な地図等を入れるべき。知っている人は少ないと思う。

(委員)

誰があんな分かりにくい所に持って行く人がいるのか。形ばかりになると思う。自転車で持って行けるのであれば良いが、坂があるので、車でないと持っていけない。

(会長)

最終的な回収拠点は、もう少しみなさんの足回りの良い所で、色々な団体と話し合う中で決まって行くものだろうと思っている。

(委員)

プラのごみは、実際8ページのカップラーメンの容器より、トレイの方が多い。

(委員)

ペットボトルのキャップと缶のリングプルの回収は行うのか。

(事務局)

缶のリングは別で集める予定はない。ペットボトルのキャップは回収について検討する。

(委員)

缶のリングプルをたくさん集めている。子供が居ないのでずっと溜めたまま。その後どうすれば良いかの情報がないため、協力のしようがない。

#### 議題(4) ダンボールコンポストの活用について

(事務局)

【資料4：ダンボールコンポストの活用について により説明】

(会長)

3人の委員にダンボールコンポストを春から実際に使用して頂いた。個人的に3ページにあるフローチャートを一般に出す時にはもう少し見やすくして頂きたい。1枚は簡単なフローシートで、2枚目は補助資料をつけて、2段階に分けて外部に出すと良いと思う。1枚にたくさん情報を入れるとみんなやる気が無くなると思う。3人の委員からご報告ありましたら、お願いします。

(委員)

最初は記録を毎日書いていたが、生ごみの量が少ないので、数日置きになったが、3ヶ月ちょっとで気がついた事は、二人家族なのでもう少し小さめの箱でも良かった。フタと箱は分かれている方が良い。蒸気でフタがブヨンブヨンになって使えなくなるなどと思った。水切りした生ごみを朝に入れていたが、水分がないと分解しないと分かった。鍋を洗った汁や米のとぎ汁を入れると分解が速かった。においは無かった。私の家は油を使う料理が少ないので、分解が遅かったと思う。最近温度が上らなくなったので、そろそろ熟成かなと思っている。約4ヶ月かかった。とても楽しかった。殆ど生ごみが出なかった。入れるものは何でも良いという事が分かった。

(委員)

4月2日から始めて、現在は熟成を終えて堆肥として使える状態である。今後、堆肥としての使い方を楽しみたい。準備から熟成までマニュアル通りにした。見える堆肥作りというのを感じた。身近にごくごく自然に誰でも手軽にできると感じた。私も二人家族で生ごみが出なかったが、油を足して温度を上げたり、工夫した。



(委員)

私は長年やっている。昨日全部ひっくり返したら、四隅が堆肥化されていなかった。私はマニュアル通りではない。時期によって500g以上生ごみが出る時があるので、箱を二つ用意している。

(委員)

別の人にダンボールコンポストを勧める為に、マニュアル通りにした。マニュアル通りにしたら出来たとアドバイスしたい。次は自分で工夫してやってみたい。

(委員)

ピートモスの材料が500円かかる。生ごみを処理するのに3ヶ月で500円払えると思うかどうか。

(委員)

実際にダンボールコンポストを使って、子供からお年寄りまで手軽に出来て勧められると思った。

(委員)

ティッシュも分解すると聞いたので、お皿についた焼肉のタレやマヨネーズも綺麗に拭いて入れた。

(委員)

堆肥づくりのためのダンボールコンポストになっているが、生ごみを出さないためのダンボールコンポストという観点が前に出たマニュアルが良いと思う。

(会長)

ダンボールはどこに置いていたのか。

(委員)

軒下です。日が当たり、風通しの良い雨に濡れない所。

(委員)

他の市町村はダンボールコンポストにネーミングをつけている。この取組みは良いと思う。

(委員)

NPO 法人が売っているダンボールは箱が弱い。ダンボールの箱によって耐久性が違う。

(会長)

田川市は補助金制度を考えている。

(委員)

実際ダンボールコンポストに興味がある人はごみが少ない人。意識の高い人が興味を示す。

(会長)

まとめると1つはダンボールコンポストを勧める為に、補助金を考える。もう1つは生ごみを減らすためのダンボールコンポストという切り口で簡単なマニュアル作りを考えても良い。

(委員)

ダンボールコンポストを普及する時に何か手伝える事があれば手伝います。

(委員)

ダンボールコンポストをする事によって生ごみがこれだけ減るのか、1家族でゴミ袋をどのくらい買わなくてすむのか、という試算を出して欲しい。

(委員)

ゴミを出す時は水を切らないといけませんが、ダンボールコンポストは水分がないと分解しないので、そのまま混ぜるだけで良い。ダンボールコンポストの方が面倒ではない。

(会長)

1つは補助金、1つはキャッチフレイズを付けたマニュアル作り、1つは出来た堆肥の受け入れ先のこの3点を考えながら、今後進めて頂けたらと思います。

#### 議題(5) 8市町村におけるゴミ袋の価格等について

(事務局)

【資料5：8市町村におけるゴミ袋の価格等について により説明】

(委員)

全体的に田川市は他町村よりゴミ袋の価格安い。その理由が何かあるのか。

(事務局)

当時、有料化した自治体のゴミ袋の料金を参考にしながら、平均的な料金で設定したと思う。平成19年に、資源ごみのうち、かん・びんのごみ袋の価格を下げたため、当初の価格設定と若干変更がある。

(委員)

可燃(大)のごみ袋の価格で言うと、糸田町の800円10枚と田川市400円10枚は全然違う。

議題(6) その他

(事務局)

【事例の紹介(田川市清掃事務所の省エネについて)】

【次回視察について説明】

### 3. 閉会

(会長)

次回は11月に宇部市へ視察です。